

12-1

あしたいいことがあるでしょう♡



活動

とも お
友だちに起きるいいことをおみ
くじに書^かく / 読^よむ。

かたち



時間

せつめい編

文-42 でしょう

談話の技術

準備するもの

使うことば

てん (点*)、すぐ、おこづかい*、来週^{らいしゅう}、
ひろ 拾^ひう*、増^ふえる*、試合^{しあい}*、チケット*、
チーム*、勝^かつ*
いいこと / 友だち^{とも}ができる

手 順

1. 教師^{きょうし}は学習者^{がくしゅうしゃ}に日本^{にほん}のおみくじ^{せつめい}の説明^{せつめい}をする。おみくじの内容^{ないよう}の例^{れい}として<モデル^よテキスト>を^よ読む。
2. 教師^{きょうし}はこれからクラス^{つく}でおみくじ^{つく}を作ることを提案^{ていあん}する。内容^{ないよう}は、勉強^{べんきょう}、友だち^{とも}、おこづかい^{しゅみ}、趣味^ななどの中から学習者^{がくしゅうしゃ}にえら^{えら}選ば^{ちか}せ、近い^{しょうらい}将来^な何か^おいいことが起き^おるようなこと^かを書^しくように指示^{しじ}する。

3. 学習者^{がくしゅうしゃ}は2つのグループ^{ふた}にわかれる。
4. 学習者^{がくしゅうしゃ}は1人^{ひとり}ずつ小さい紙^{ちい}に文^{かみ}を1つ書^{かみ}き、紙^{かみ}をきれいにたたんで、グループご^{はこ}とに箱^いに入れて集^{あつ}める。
5. グループ^{はこ}で箱^{こうかん}を交換^{こうかん}し、ほかのグループ^{はこ}からもら^なった箱^{ひとり}の中から1人^{ひとり}1つずつおみくじ^よを引^ひいて読^よむ。

モデルテキスト

(1) ベンきょう

- ・日本語のテストでいい点をとるでしょう。
- ・すう学のしゅくだいが少ないでしょう。
- ・かんじをすぐに20おぼえることができるでしょう。

(2) 友だち

- ・小学校のときの友だちから手がみが来るでしょう。
- ・新しい友だちができるでしょう。

(3) おこづかい

- ・来週いいアルバイトができるでしょう。
- ・来月おこづかいがふえるでしょう。
- ・前からほしかったものを買うことができるでしょう。

(4) しゅみ

- ・友だちからえいがのチケットをもらうでしょう。
- ・しあいであなたのチームがかつでしょう。
- ・しあいで好きなチームがかつでしょう。

先生へ

- ・「友だちができる」の「できる」は特別な使い方。「新しく生まれる、発生する、完成する」の意味。「可能である、能力がある」とは違う。